

第4回日野町議会定例会会議録

平成25年6月5日（第1日）

開会 9時09分

散会 9時34分

1. 出席議員（13名）

1番	村島茂男	9番	西澤正治
2番	中西佳子	10番	東正幸
3番	齋藤光弘	11番	池元法子
5番	蒲生行正	12番	平山敏夫
6番	富田幸	13番	對中芳喜
7番	高橋涉	14番	杉浦和人
8番	小林宏		

2. 欠席、遅刻、途中退席および早退議員

なし

3. 会議録署名議員

5番	蒲生行正	9番	西澤正治
----	------	----	------

4. 地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名（17名）

町長	藤澤直広	副町長	岡村明雄
教育長	奥村薫	総務政策主監	平尾義明
教育次長	岡常夫	総務課長	池内俊宏
企画振興課長	高橋正一	税務課長	山田繁雄
住民課長	川東昭男	福祉課長	壁田文
介護支援課長	西沢雅裕	農林課長	高岡良三
商工観光課長	森口雄司	建設計画課長	岸村義文
上下水道課長	中井宣夫	生涯学習課長	福永豊
会計管理者	西川光夫		

5. 事務のため出席した者の職氏名（2名）

議会事務局長	沢田友男	総務課主査	山添史郎
--------	------	-------	------

6. 議事日程

- | | | |
|-----|----|---|
| 日程第 | 1 | 会議録署名議員の指名について |
| 〃 | 2 | 会期決定について |
| 〃 | 3 | 議第46号 琵琶湖流域下水道協議会の設置について |
| 〃 | 4 | 議第47号 工事請負契約について（日野町立桜谷小学校校舎改修工事（建築工事）） |
| 〃 | 5 | 議第48号 工事請負契約について（日野町立桜谷小学校校舎改修工事（電気設備工事）） |
| 〃 | 6 | 議第49号 工事請負契約について（日野町立桜谷小学校校舎改修工事（機械設備工事）） |
| 〃 | 7 | 報第 2号 平成24年度日野町一般会計継続費繰越計算書 |
| 〃 | 8 | 報第 3号 平成24年度日野町一般会計繰越明許費繰越計算書 |
| 〃 | 9 | 報第 4号 平成24年度日野町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書 |
| 〃 | 10 | 報第 5号 平成24年度日野町農業集落排水事業特別会計繰越明許費繰越計算書 |

会議の概要

－開会 9時09分－

議長（杉浦和人君） 皆さん、おはようございます。全員の方、ご起立をお願いいたします。

一同、礼。

一起立・礼

議長（杉浦和人君） ご着席下さい。

ただいまの出席議員は全員であります。定足数に達しておりますので、これより、本日をもって招集されました平成25年第4回定例会を開会いたします。

町長より招集の挨拶があります。

町長。

町長（藤澤直広君） 議員の皆さん、おはようございます。初夏の季節となってまいりました。田んぼの苗もすくすくと育ち、転作田の麦も実り、こうべを垂れてきたところでございます。

本日、第4回定例会に議員全員のご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、日ごろご壮健にて議員活動にご精励をいただいております。心より敬意を表する次第でございます。

さて、今朝はうれしいニュースが飛び込んでまいりました。来年のサッカーワールドカップに日本が5回連続出場することが決まったということでございます。こうした活躍が元気に繰り広げられることが、気持ちの上でも経済の上でもより向上するのではないかと、こういうふうにご期待をしたいと思います。

そうした中で、先日、経済協力開発機構、いわゆるOECDが発表した経済見通しによりますと、日本の実質成長率は1.6パーセントと、昨年11月の見通しから0.9ポイント上方修正をいたしました。緊急経済対策による国の公共投資などが成長率を押し上げていると分析しているようでございます。しかしながら、なかなか実体の実感がするというにはなっていないのもまた現実でございます。最近の株価は半年前より2倍にもなったかと思えば、1日に1,000円近くも上下するという事になっております。实体经济がよくなったわけではなく、国際ファンドなどによるマネーゲームの影響という指摘もされています。商工会の総会などで話を聞かせていただいても、多くの事業主の皆さんが、景気がよいとは実感できないと話されております。円安効果にしても、一部の輸出関連企業にはよくても、燃料費が上がり、原材料費が上がることによって、事業活動も国民生活もなかなか大変になっているということも言われております。株高、円安だけで全てが解決するものでないことは明らかであります。地に足をつけた国民本位の経済政策を講じることが大切

だというふうに思います。

こうした中で、政府は中期的な経済財政運営の方向を示す骨太の方針の素案をまとめました。財政再建の指標である国と地方の基礎的財政収支、いわゆるプライマリーバランスを2020年度までに黒字化する国際公約を守るということ、目標達成に向けて医療や介護、年金などの社会保障支出についても、聖域とせず、見直しに取り組むということなどを盛り込んだ素案を、経済財政諮問会議に提案するという報道もされておるところでございます。骨太の方針という言葉を開きますと、いわゆる平成16年当時からの地方財政危機の時代の交付税削減などを思い出すわけでございます。こうしたことではなくて、地方にしっかりと光が当たる、そういうことにつながらなければならない、このようにも思っております。あわせて、経費の節減等は当然のことではあります。社会保障を聖域とせずという言葉によって、消費税の引き上げの理由が社会保障の充実であったことからしますと、このところについても懸念せざるを得ないところがございます。

さて、滋賀県におきましては、福井県内の4つの原子力発電所における事故を想定した放射性物質の拡散についての予測を公表いたしまして、国のSPEEDIの試算結果を公表したところがございます。おおむね、既に県が独自に算定した結果と関連しているようでございますけれども、県内にも拡散することが明らかにされたところがございます。福島原発では、まだ汚染水がどんどんたまるなど深刻な状況が続いております。再稼働の議論もされておりますが、事故の徹底究明こそまずしなければならないのではないかと、このように思うところがございます。

5月に入りまして、また国際的にも大きな波紋を広げました大阪の橋下市長の慰安婦問題に係る発言は、歴史を歪曲したもので、国際社会からの批判を浴びているところがございます。戦争への真摯な反省こそ国際社会に日本が復帰した原点であり、これを否定することになりますと、国際社会における信頼を損ねることになるのではないかと、そして憲法の諸条項の実践のためにこそ努力をすることが大切だと、このように思います。

さて、この間の町の出来事でございますが、6月1日に県道西明寺安部居線改良の早期実現を目指す「キックオフ大会」が100名を超える参加者のもとで開催をいただきました。地域からいろいろ思いが発表されるなど、早期着工を求める強い熱意が伝わる大会となりました。町といたしましても地元の皆さんとともに力を合わせて取り組んでまいりたいと考えておるところでございます。

また、同じく6月1日には、日野町森林組合が経営基盤の強化と事業活動の活性化を図るため、甲賀森林組合、甲賀市信楽森林組合との合併に向けた予備契約調印式が行われました。今後は県下最大の森林組合として活躍されることを期待するものがございます。また、6月2日には恒例の「ゴミゼロ大作戦」が実施されまして、

今回も100名近くの方が参加をいただきました。ごみ量は、例年よりも少なく、環境美化の意識が定着してきたのではないかという感じもいたします。また、旧桜谷幼稚園舎では、今年度から「つどいのひろば」事業を実施いたしております。2ヵ月になりますが、子育て中の親子さんがたくさん参加され、参加者の皆さんが集っていただいております。子どもだけでなく、保護者や家族にとっても居心地のよい場所となるよう、参加者の皆さんと一緒に努めてまいりたいと考えております。

この間、町内では各種団体等が総会を開催され、出席させていただきました。それぞれの団体において町民の皆さんが力を合わせて経験を生かし、各種事業に継続して取り組んでいただいていることに感謝いたします。あわせて、こうした町民の皆さんの力が日野町を支えている力だと感じているところでございます。

また、役場では庁舎耐震工事が着実に進んでおりますが、来庁される皆さん、さらには議員各位にはご不便をおかけしておりますが、年度内完成に向けて取り組んでまいりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

さて、今月下旬には、「小さくても輝く自治体フォーラム」を日野町で開催いたします。滋賀県の町村会の皆さんとの協働のもとで、全国の皆さんとの交流をすることで、第1回大会から10年になりますが、道州制の議論がクローズアップされている中、自治体は大きければいいのではなくて、住民の皆さんとともに歩む、そうした自治体づくりについても議論をしていきたいと、このように考えておりますので、議員各位をはじめ、多くの町民の皆さんにご参加をいただけたらありがたいと、このように思っております。

さて、6月7日には岡村副町長の任期が満了いたすこととなります。この4年にわたり町政をしっかりと支える、そういう役割を果たしてきていただいたものと私は大変感謝をいたしておるところでございますし、議員各位におかれましてもご理解、ご支援をいただいたことに対して深く感謝を申し上げる次第でございます。

さて、本定例会に提案いたします議案は4件、報告案件4件でございます。各議案につきまして、十分なお審議をいただきまして、適切なるご採択を賜りますようお願いを申し上げまして、開会にあたりのご挨拶とさせていただきます。どうかよろしくお願ひいたします。

議長（杉浦和人君） これより本日の会議を開きます。

なお、暑い時期でございますので、上着を外していただいても結構かと思ひます。

本日の議事日程は、お手元へ印刷配付のとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

本会期の会議録署名議員は、会議規則第118条の規定により、5番 蒲生行正君、9番 西澤正治君を指名いたします。

日程第2 会期の決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日から6月26日までの22日間といたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

—異 議 な し—

議長（杉浦和人君） ご異議なしと認めます。よって、本定例会の会期は、本日から6月26日までの22日間と決定いたしました。

ここで、議事に入ります前に諸般の報告を行います。

まず、一部事務組合議会の結果の報告が議長に提出されておりますので、その報告を私の方から行います。

平成25年第2回八日市布引ライフ組合議会臨時会が、去る3月27日に開会され、管理者の選任が行われました。管理者には、議長の指名推選による小椋正清東近江市長が選任されました。以上で臨時会の日程は全て終了し、閉会となりました。一部事務組合議会の報告を終わります。詳細につきましては、事務局においてご閲覧のほどよろしくお願いたします。

続きまして、議長公務についてご報告をいたします。まず、去る4月26日、蒲生郡町村議会議長会定期総会が竜王町において開催されました。私と副議長が出席いたしました。当日の議題は、平成24年度事業報告および決算の承認ならびに平成25年度事業計画および予算案が提案され、異議なく、原案どおり承認されました。

また、役員の変更が行われ、会長には、私、日野町議会議長杉浦和人が、副会長には蔵口嘉寿男竜王町議会議長が選任されました。

次に、去る5月28日、29日の両日にわたり、第38回町村議会議長全国研修会が東京、メルパルクホールで開催され、私が出席いたしました。地域の自主性や自立性の高まりが求められている現在、住民の代表機関である地方議会の果たす役割の重要性を再認識するとともに、これからの町村議会のあり方について研修を受けました。

また、町村議会議長全国研修会にあわせ、第1回滋賀県町村議会議長会理事会が5月29日に開催されました。

次に、平成25年3月1日から平成25年5月31日までの間における議員派遣および議長公務につきましては、お手元へ印刷配付の議員派遣結果一覧表のとおりでありますので、ご報告いたします。

以上で諸般の報告を終わります。

日程第3 議第46号から日程第6 議第49号まで、琵琶湖流域下水道協議会の設置についてほか3件を一括議題として、町長の提案理由の説明を求めます。

また、日程第7 報第2号から日程第10 報第5号まで、平成24年度日野町一般会計継続費繰越計算書のほか3件についても町長の報告を求めます。

町長。

町長（藤澤直広君） それでは、日程第3 議第46号、琵琶湖流域下水道協議会の設置について。本案は、地方自治法第252条の2第1項の規定に基づき、琵琶湖流域下水道協議会を設置するため、関係地方公共団体をもって必要な規約を定めることについて、同条第3項の規定に基づき議決を求めるものでございます。本協議会は、財団法人滋賀県下水道公社の解散に関連し、下水道公社理事会に代わるものとして、県と市町が共同して流域下水道事業の運営に参加し、市町の意見が反映される枠組みをつくることを目指し、昨年度来、県と市町が調整を進めてきたものでございます。下水道の建設、維持管理をはじめとする流域下水道事業は、県と市町がそれぞれ流域下水道、関連公共下水道の管理者としての管理責任を持って密接に連携、協力して進めていく必要がございます。このことから、本協議会は、流域下水道の運営に係る計画を共同して策定することを目的に、広域にわたる総合的な計画を共同して作成する協議会として設置するものでございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

続きまして、日程第4 議第47号、工事請負契約について（日野町立桜谷小学校校舎改修工事（建築工事））。本案は、日野町立桜谷小学校校舎改修工事（建築工事）を実施するため、同工事の入札を、去る6月3日、10社による指名競争入札を行い、1億6,768万5,000円をもって、株式会社今井工業代表取締役、今井哲二が落札したので、工事請負契約を締結しようとするものでございます。工事の内容は別添の参考資料のとおりで、工期は平成25年12月27日となっております。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

続きまして、日程第5 議第48号、工事請負契約について（日野町立桜谷小学校校舎改修工事（電気設備工事））。本案は、日野町立桜谷小学校校舎改修工事（電気設備工事）を実施するため、同工事の入札を、去る6月3日、11社による指名競争入札を行い、4,950万7,500円をもって、株式会社ニシデン代表取締役、西田幹夫が落札したので、工事請負契約を締結しようとするものです。工事の内容は別添の参考資料のとおりで、工期は平成25年12月27日となっております。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

続きまして、日程第6 議第49号、工事請負契約について（日野町立桜谷小学校校舎改修工事（機械設備工事））。本案は、日野町立桜谷小学校校舎改修工事（機械設備工事）を実施するため、同工事の入札を、去る6月3日、13社による指名競争入札を行い、5,481万円をもって、小林電機商会、小林みち子が落札したので、工事請負契約を締結しようとするものです。工事の内容は別添の参考資料のとおりで、工期は平成25年12月27日となっております。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

続きまして、日程第7 報第2号、平成24年度日野町一般会計継続費繰越計算書。

本件につきましては、日野町役場庁舎耐震補強その他工事事業を実施するため、地方自治法第212条第1項の規定に基づき、平成24年度から平成25年度までの2ヵ年度の継続費を設定しております。平成24年度の年割額に係る歳出予算のうち、支出が終わらなかった経費について逡次繰り越しを行いましたことから、地方自治法施行令第145条第1項の規定に基づき、逡次繰越額および財源内訳について繰越計算書のとおり報告させていただくものでございます。

続きまして、日程第8 報第3号、平成24年度日野町一般会計繰越明許費繰越計算書。本件につきましては、地方自治法第213条第1項の規定に基づき、平成25年度に繰り越す事業として議決をいただきました地域情報化推進事業のほか10件の事業につきまして、平成25年度に繰り越しを行いましたことから、地方自治法施行令第146条第2項の規定に基づき、繰越額および財源内訳について繰越計算書のとおり報告させていただくものでございます。

続きまして、日程第9 報第4号、平成24年度日野町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書。本件につきましては、地方自治法第213条第1項の規定に基づき、平成25年度に繰り越す事業として議決をいただきました公共下水道事業（追加分）につきまして、平成25年度に繰り越しを行いましたことから、地方自治法施行令第146条第2項の規定に基づき、繰越額および財源内訳について繰越計算書のとおり報告させていただくものでございます。

続きまして、日程第10 報第5号、平成24年度日野町農業集落排水事業特別会計繰越明許費繰越計算書。本件につきましては、地方自治法第213条第1項の規定に基づき、平成25年度に繰り越す事業として議決をいただきました農業集落排水事業（追加分）につきまして、平成25年度に繰り越しを行いましたことから、地方自治法施行令第146条第2項の規定に基づき、繰越額および財源内訳について繰越計算書のとおりご報告させていただくものでございます。

議長（杉浦和人君） 以上で提案理由の説明および報告を終わります。

以上をもって、本日の日程はすべて終了いたしました。

ご承認いただきました日程表により、6月6日から6月16日までは、議案熟読のため休会とし、6月17日には本会議を開き、質疑、一般質問を行いますので、定刻ご参集をお願いいたします。

ここで、岡村副町長より発言が求められておりますので、これを許可いたします。

副町長。

副町長（岡村明雄君） 貴重な時間をいただきまして、私の退任の挨拶の機会を与えていただきましたことに、まずもって議長はじめ議員の皆様方に厚くお礼を申し上げます。ありがとうございます。

私、このたび6月7日をもちまして、任期が満了し退任させていただくこととな

りました。平成21年6月に選任をいただきましてから、はや4年が経過することとなります。この間、議員の皆様方の温かいご指導と職員の皆様の献身的なお支援によりまして、そして住民の皆様のご支援とご協力をいただき、何とか4年の任期を務めさせていただくことができました。本当に心から感謝し、お礼を申し上げます。ありがとうございます。

顧みますと、私がこの議場の本会議に説明員としてこの本会議の席に座らせていただきましたのは平成6年6月6日の第3回定例会からでございました。足かけ20年の間、本当に多くの議員の皆様のおさまざまなご質問、ご提言、ご指摘、ご要望等のご意見を伺いながら、少しでも行政運営に反映ができるよう努めてまいったところでございますが、何分にも非力なものでございまして、議員の皆様にはいろいろとご迷惑をおかけしたり、また、ご期待に沿えないところが多々あったと思います。その点についてはお許しを願いたいと存じます。私にとりましては、この議場で経験させていただいたその一つ一つが大きな財産でございます。皆様に教えていただいたこと、ご批判をいただいたこと、今後の人生に十分生かしてまいりたいと思っております。

日本の社会は今、難しい局面でございます。地方自治体の役割はなお一層重要なものとなっていくものと思います。どうか議員の皆様方には、町長はじめ職員の皆様方におかれましても、十分にご健康にご留意をいただきまして、日野町の発展のため、住民福祉向上のために努めていただきたいことをお願い申し上げます。

長い間、皆様方に大変お世話になりましたことに重ねてお礼を申し上げまして、甚だ簡単ではございますが、退任にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。まことにありがとうございました。

議長（杉浦和人君） 岡村副町長におかれましては、大変ご苦労さまでございました。

それでは、本日はこれをもって散会いたします。

一同、起立をお願いいたします。一同、礼。

— 起 立 ・ 礼 —

議長（杉浦和人君） ご苦労さまでございました。

— 散会 9時34分 —